

2011年8月20日

## 合否を超えて 採用講座を終えて

講座助言者 山口 正

すてきな教師をめざす、講座参加者のみなさんへ  
講座助言者の山口です。

先ほど、2次選考試験・直前講座が終わりました。最終講座には257人の2次受験者と講座を支える53人のスタッフが集いました(全体で310人参加)。  
これで、今年度の採用講座は終了しました。

4月3日から始まった2011年度採用講座(春夏講座)には、のべで1595の方が参加されました。参加人数のみで講座を評価することはできませんが、それでも参加された多くの方がこの講座に魅力を感じては確かでしょう。

その魅力とは何なのか。

講座に参加すると、これまで(あまり)体験したことがないような感覚や意識が参加者のなかに生まれる、とってよいでしょうか。

言葉をかえれば、この講座に参加すると、競争主義的な意識(第一義的に合格を優先し、物事を判断する意識)が自分のなかから少しずつ抜けていく、そしてより大切なものを発見・実感していく講座参加者が多くいた、とってよいでしょうか。

今回(2次直前講座)もそうした姿が多数見られました。

その一例は、2次直前講座にもかかわらず、「1次不合格」通知を手にした受験者たちが午前の打ち合わせから参加し、講座の運営に携わったくれた姿にも見られました。私はその姿に接し、胸が熱くなりました。

一般に、「不合格通知」を手にした方がこれから「2次合格」をめざすひとを支えることがあるのでしょうか。競争主義的意識が支配的な講座なら、それは不可能でしょう。

採用試験の合否を超えて、この仲間とともに<すてきな教師になりたい>、そんな意識が参加者になかに徐々に広がっていく、そう感じた今年の講座でした。

あらためて、講座に参加されたすべてのみなさんに感謝申し上げます。

みなさんとともに創り上げた2011年度採用学習講座であったことを、助言者として嬉しく思っています。

(上記は8月20日に講座メーリングリストに発信したものです)